

CONTENTS

第 29 回日本小児科医会総会フォーラム in YOKOHAMA 会頭挨拶	002
公益社団法人 日本小児科医会 会長挨拶	003
会場へのご案内	004
フォーラム会場のご案内	005
参加者へのご案内	007
座長・発表者へのご案内	009
日程表	012
プログラム	014
会期中の委員会等	023
ご案内（ミニコンサート）	024
抄録	025~155
特別講演 1	026
特別講演 2	028
特別講演 3	030
講演 1	034
講演 2	038
教育講演 1	042
教育講演 2	044
教育講演 3	046
教育講演 4	048
教育講演 5	050
教育講演 6	052
シンポジウム 1	055
シンポジウム 2	069
シンポジウム 3	079
シンポジウム 4	093
シンポジウム 5	105
市民公開フォーラム 1	122
市民公開フォーラム 2	124
一般演題	127
ランチョンセミナー	145
次回開催予告	156
日本小児科医会総会フォーラムの歴史	157
実行委員	158
後援団体・協賛企業等一覧	159

第 29 回日本小児科医会総会フォーラム in YOKOHAMA

会頭挨拶



第 29 回日本小児科医会総会フォーラム

会頭 **横田俊一郎**

神奈川小児科医会 顧問・医療法人社団横田小児科医院 院長

ようこそ横浜へ。第 29 回日本小児科医会総会フォーラムは神奈川小児科医会が担当させていただくことになりました。横浜での開催は、第 12 回日本小児科医会セミナーから 17 年ぶりです。関東ブロックの代表として、会員の皆さまの活動に役立つフォーラムとなるよう準備を進めてまいりましたので、ご期待ください。

テーマは『子どもたちのすこやかな未来のために 今 できること』としました。世の中の技術が驚くほどのスピードで進化し、日常生活様式や物事の価値観が大きく変化する中で、子どもたちは身体面だけでなく精神面での影響を大きく受けるようになっていきます。今、手を打たないと取り返しのつかないことになるのではないかという危機感が私たち小児科医にはあります。やるべきことはたくさんある中で、まず何から手をつけていけばよいのかを、会員の皆さまとともに考えることができればと願っています。

プログラムは実行委員会と日本小児科医会の各種委員会が知恵を絞って企画してきました。特に、受動喫煙防止条例発祥の地神奈川県として、2020 年東京オリンピック前の喫煙の課題である受動喫煙防止に関するシンポジウムを開催しますので、多くの会員の参加を期待しています。一般演題は 27 題の応募があり、ポスター発表と同時にすべて口演としました。活発な意見交換を期待しています。また、市民公開フォーラムとしてテニスプレーヤー杉山愛さんのお母様杉山芙沙子さんによるスポーツと子育ての話、ラオスで活躍する看護師赤尾和美さんによる開発途上国の子どもたちの話、さらに日本の合唱のトップレベルにある小田原少年少女合唱隊の公演も準備しています。

土曜日夕方には、会員相互の意見交換の場として懇親会を開催しますので、ぜひご参加ください。横浜は人口 370 万人を擁する巨大都市で、海の玄関横浜港は開港 150 年を超えています。全国どこからでも交通の便がよく、みなとみらい、中華街、山下公園、赤レンガ倉庫など、会場周辺にも観光スポットが数多くあります。多くの方々にご参加いただき横浜を楽しんでいただければと願っています。



公益社団法人 日本小児科医会 会長
松平 隆光

第29回日本小児科医会総会フォーラム開催にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。

この度は、横田俊一郎会頭のもとで、神奈川県横浜市で開催されることになりました。

今回の総会フォーラムのテーマは、「子どもたちのすこやかな未来のために 今 できること」であります。今から24年前になりますが、埴賢二会頭のもと東京で開催されました第5回日本小児科医会生涯教育セミナー（現在の日本小児科医会総会フォーラム）のテーマは、「小児医療の話題と進歩」でありました。埴会頭の開業医であっても最新の小児医療を学ぶことが重要であるというお気持ちを反映した会でありましたが、成育基本法の必要性が初めて議論された会でもありました。高齢者には1982（昭和57）年に老人保健法が制定され、老人の生活全般にわたる広範な保健・医療・福祉サービスが展開されておりました。小児にも老人保健法を参考にして子ども自身が健全に成長できる環境作りと、子育てを社会全体で支えていくシステムを早急に作る必要があることがその会で確認されました。私には、昨日の出来事のように鮮明に記憶されておりますが、東京青山の子どもの城円形劇場で300名を超える参加者が、子どもの生活環境改善にむけて、子どもの保健・医療・福祉政策を包含した当時の名称「小児保健法」について熱い議論を戦わしました。病院勤務の小児科医、当時の厚生省母子保健課課長、小児科開業医、保健師など様々な職種の方が参加されました。各演者が病院小児医療の充実や小児科開業医の医院経営の安定化を求める中、子どもの城の館主をされておりました荅野悟郎先生が、子どもへの支援には医療施設や保育所整備などのハードな部分の改善も必要と思うが、もっと違ったソフトの面で、今子どもが何を望んでいるか、子どもの気持ちになって考え、今大人がすべきことを将来後悔することがないようにあらゆる手を尽くすことが大切であると力説されました。

わが国では40年以上にわたって少子化が続いておりますが、わが国の少子化は超少子と超高齢化が同時に進行する超少子超高齢化という他の国には見られない特徴があります。そのため、この問題を解決するための先例はなく、わが国が自ら施策を重ね解決してゆかねばなりません。政府も沢山の子育て支援策を実行してきましたが、その効果は認められておりません。その理由の一つに、ワークライフバランスを重視し、女性が仕事と子育てを両立できる社会を目指してきたことが挙げられております。わが国では、結婚すれば従来から二人の子どもを産む現状がありますので、少子化の原因は「晩婚・晩産化」よりも「未婚化」による影響が深刻と言われてきております。また、支援策が保育サービスなど既婚者の中でも共働き世帯に偏り、在宅育児の親への支援がほとんど行われてこなかったことが反省点となっております。

「成育基本法」は、胎児期から新生児期、乳幼児期、学童期、思春期を経て次世代を育成する成人期までに至る「人のライフサイクル」の過程に生じるさまざまな健康問題を包括的に捉え、適切に対応するために必要な法律と位置づけられております。法律が制定されますと、具体的には、国の機関として「成育医療等協議会（仮称）」を設置し、法定の計画として「成育基本計画（仮称）」を策定することになります。成育基本法は衆議院の法制局で法案の骨子案が作成され、自由民主党の国会議員の先生方による議連でご審議され、現在超党派国会議員の先生方で検討されております。

わが国の子どもたちが今、何を望んでいるか何をなしたいか、それを見極めそれを大人たちが実現するためには一日でも早い成育基本法の成立が必要と考えております。

この度の総会フォーラムを通して、会員の皆様の成育基本法への更なるご理解とご支援をいただくことを願ってご挨拶とさせていただきます。

最後になりますが、この総会フォーラムをご担当くださいました横田俊一郎会頭はじめ、会の運営にご尽力いただきました神奈川小児科医会の先生方に感謝申し上げます。

パシフィコ横浜 交通のご案内

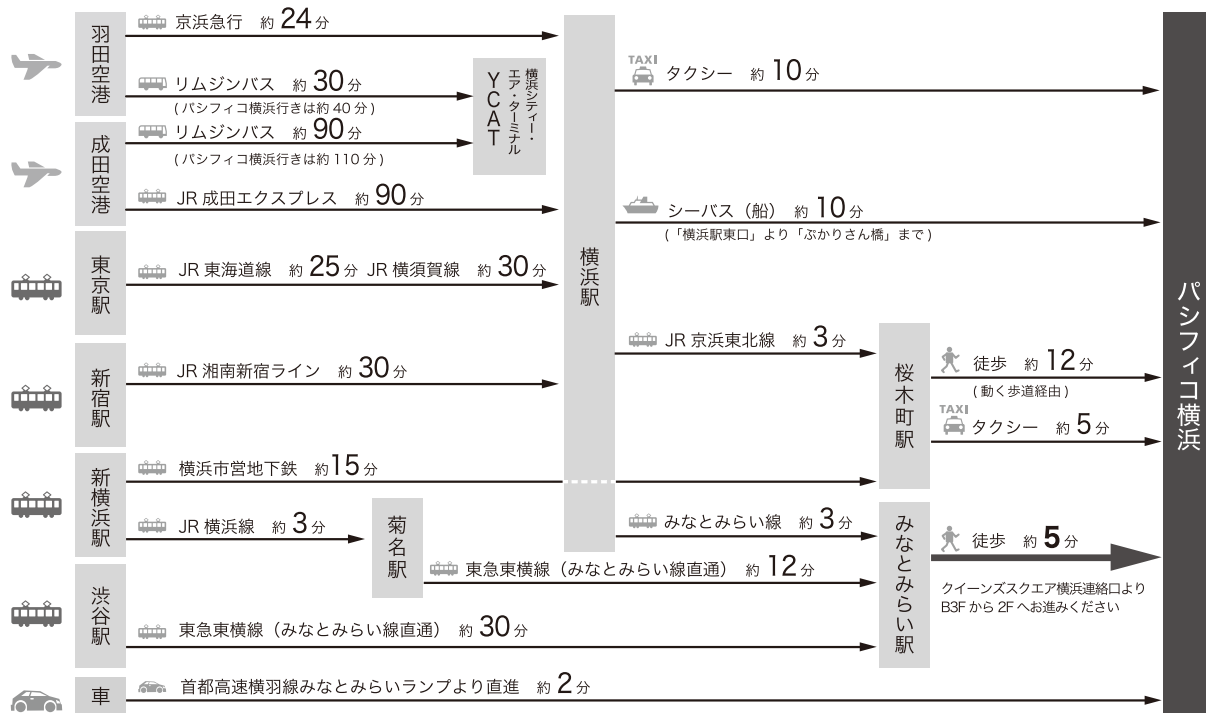
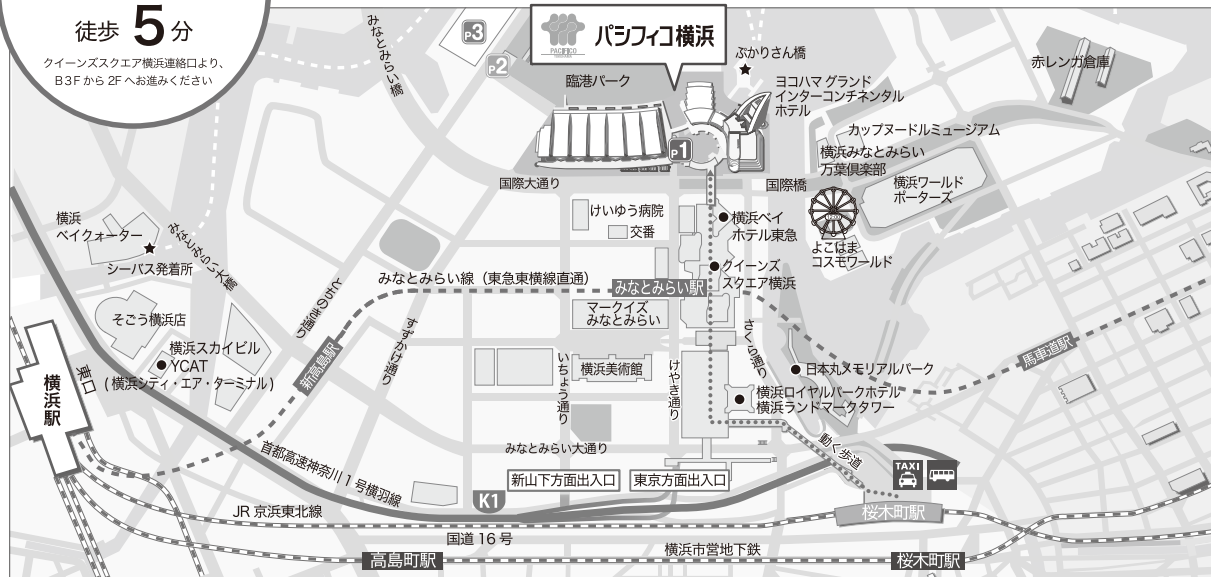
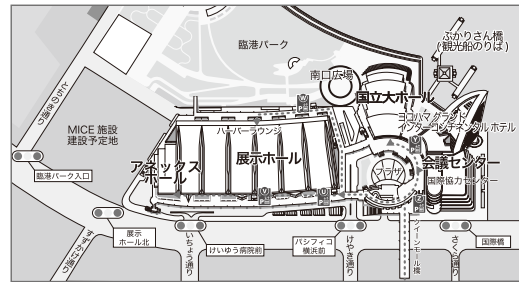
〒220-0012 横浜市内西区みなとみらい 1-1-1 TEL: 045-221-2155

世界中から、国内各地から良好なアクセス！

都心から **30分**
みなとみらい駅から
徒歩 **5分**

クイーンズスクエア横浜連絡口より、
B3Fから2Fへお進みください

東京国際空港（羽田）から約 **30分**
成田国際空港から約 **100分**
新横浜から約 **20分**
首都高速横羽線みなとみらいランプより約 **2分**

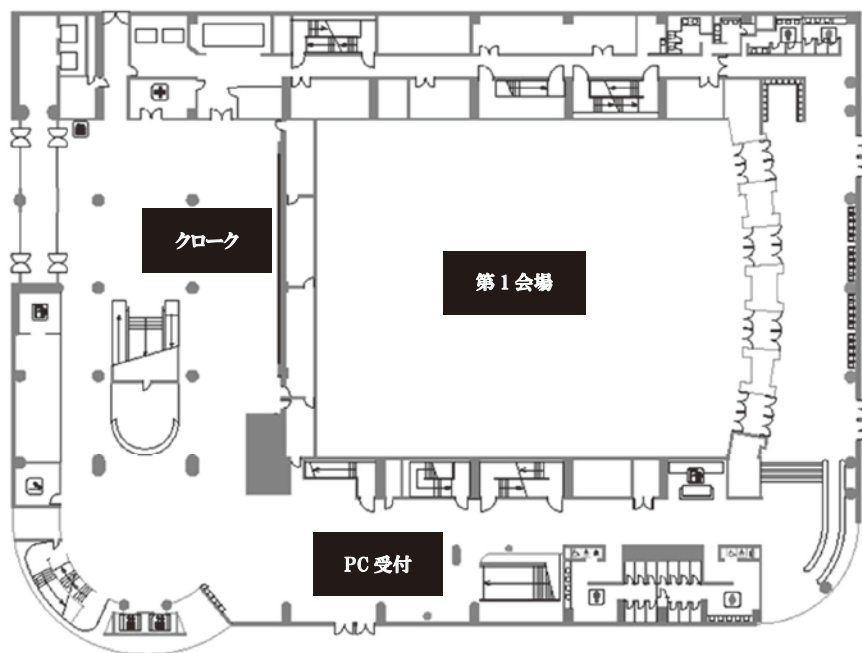


- ① みなとみらい公共駐車場 ¥270 / 30分 7:00 ~ 24:00 (出庫は 24 時間可)
- ② 臨港パーク駐車場 ¥250 / 30分 8:00 ~ 21:00
- ③ パス・大型駐車場 ¥500 / 30分 0:00 ~ 24:00 (入出庫は 7:00 ~ 22:00 予約制)

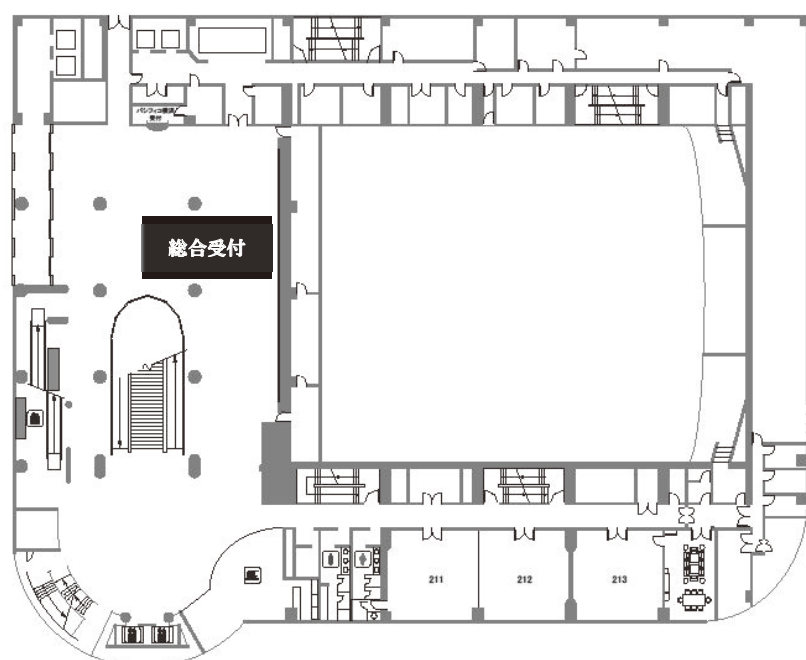
※ご利用施設により、実際の所要時間は異なります。ご来場の際は余裕を持ってお越しください。
※乗換時間は含まれておりません。 ※乗車ターミナル及び道路状況によって所要時間は異なります。

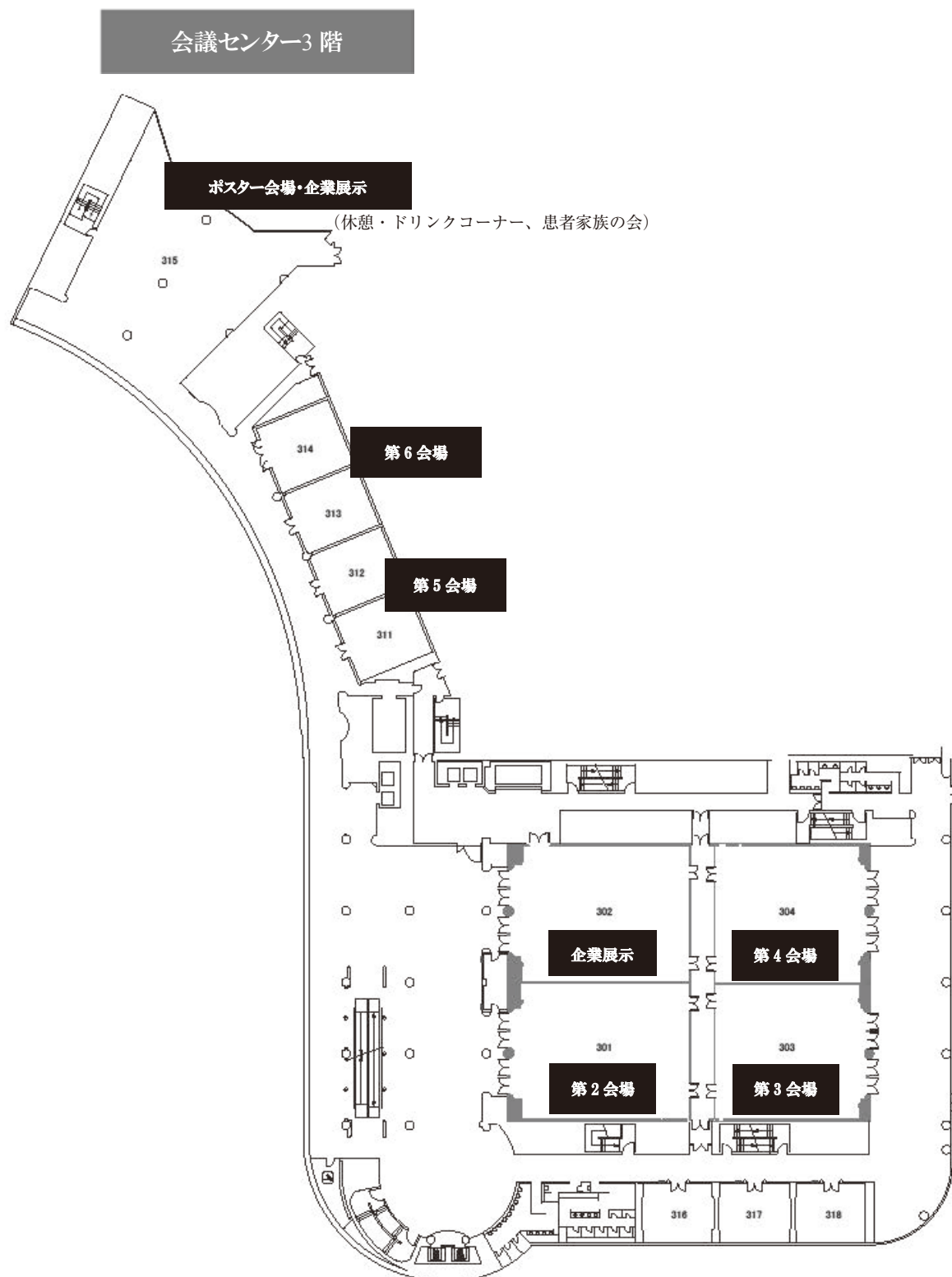
2017.1.1 版

会議センター1 階



会議センター2 階





参加者へのご案内



会 期：2018年6月23日（土）～24日（日）

フォーラム会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

TEL 045-221-2155（総合案内）

懇親会会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3F ボールルーム

総合受付：パシフィコ横浜 会議センター 2F

2018年6月23日（土） 8:30～18:15

2018年6月24日（日） 8:00～16:30

参加費：

参加区分	参加費		懇親会
	事前登録	当日登録	事前・当日登録
医師（会員）	13,000 円	15,000 円	10,000 円
医師（非会員）	15,000 円	17,000 円	10,000 円
初期研修医・医学生・コメディカル	-	2,000 円	10,000 円
同伴者	-	-	10,000 円

* 初期研修医・医学生の方は、当日受付にて申込書に記入の上、お申し出ください。
（医学生の方は学生証の提示をお願いします）

【専門医制度等単位認定について】※詳しくはホームページに後日掲載いたします。

- 日本小児科医会「地域総合小児医療認定医」制度必須研修会として新規 10 単位、更新時 5 単位が認められます。
- 本フォーラム参加による専門医制度（新制度）更新単位数は、iv 学術業績・診療以外の活動実績 B：1 単位
教育講演の出席による専門医制度（新制度）更新単位数は、iii 小児科領域講習を、下記講演の聴講で各 1 単位申請中です。

1 日目	第 2 会場	教育講演 1	10:00～11:00
2 日目	第 1 会場	教育講演 3	10:00～11:00
	第 1 会場	教育講演 4	11:00～12:00
	第 2 会場	教育講演 6	13:30～14:30

- 日本小児科医会「子どもの心」相談医制度認定研修として下記 3 講演の聴講者に認められます。

1 日目	第 1 会場	特別講演 1	13:30～14:30	2 単位
	第 1 会場	特別講演 2	14:30～15:30	2 単位
2 日目	第 2 会場	シンポジウム 4	14:30～17:00	4 単位

- 日本医師会生涯教育制度における単位が取得できます。（参加証は受付で配布予定）

※専門医講習受講証の配布方法については、当日掲示を出す予定です。短時間で効率よい配布を目指したいと思いますので、皆様にもご協力のほどよろしくお願いいたします。

懇親会のご案内：

日時：2018年6月23日（土） 18:30～20:30

会場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 3F ボールルーム

会費：10,000 円

参加者へのご案内

IN YOKOHAMA

参加者の懇親と情報交換の場として、懇親会を開催いたします。少しばかりの趣向を考えておりますので、是非ともご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。（プログラム編成の都合上、開始時間が変動する場合があります）

お食事のご案内：

昼食：6月23日（土）・24日（日）開催のランチョンセミナーにてお弁当をご用意しております。整理券が必要です（整理券は当日配布いたします）。

休憩・ドリンクコーナー：

展示会場（315）奥に休憩・ドリンクコーナーをもうけてありますので、ご利用ください。

クローク：

会議センター 1F エントランス 2018年6月23日（土） 8：30～18：30
2018年6月24日（日） 8：30～17：30

企業展示：

会議センター 3F 展示会場（302・315）にて開催いたします。是非お立ち寄りください。
2018年6月23日（土） 10：00～18：00
2018年6月24日（日） 10：00～15：00

携帯電話：

講演会場内では携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定ください。また、携帯電話による通話はお控えください。

呼び出し：

原則として行いません。緊急の場合は、総合受付に御相談、あるいはパシフィコ横浜（TEL：045-221-2155）にお電話いただき、小児科医会総会フォーラムの本部に連絡してもらうよう要請してください。

事務局：

西野善泉（にしのキッズクリニック・海老名市）
〒243-0405 神奈川県海老名市国分南3-8-12
医療モール「八芳メディカルコミュニティ海老名」内

運営事務局：

株式会社日本旅行 国際旅行事業本部 ECP 営業部内
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19 虎ノ門マリンスビル11階
TEL：03-5402-6401 FAX：03-3437-3944
E-mail：jpa_29@nta.co.jp

座長の先生方へ

- 1) セッション開始 10 分前までに「次座長席」にご着席の上、進行席スタッフへ到着の旨をお知らせください。
- 2) 進行は座長にお任せいたしますので、プログラム時間の遵守をお願い致します。発表時間の終了 1 分前に黄ランプ、終了は赤ランプでお知らせします。

講演発表される先生方へ

1) 発表データの作成について

1. 投影スクリーンは 1 面で、発表には Windows PC とプロジェクター 1 台（解像度 1024×768 ピクセル）を使用いたします。
※ DVD、VTR や 35mm スライドプロジェクターなどのご用意はございません。
2. 発表データに使用できるデータは、Microsoft Windows PowerPoint 2007,2010,2013,2016 を使用したものに限りです。
※ 動画を使用される方、他のアプリケーションをご使用の方、Mac をご利用の方はノートパソコンをお持ち込みください。
※ PowerPoint の機能にある「発表者ツール」を利用した発表はできませんので作成の際はご注意ください。
3. 発表データに使用するフォントは Windows7 Windows10 に標準搭載されているフォントを推奨いたします。
[日本語] TM ゴシック・MSP ゴシック・MS 明朝・MSP 明朝
[英語] Time New Roman・Arial・Arial Narrow・Century・Century Gothic
Courier・Courier New・Georgia

2) 発表データの持ち込みについて

1. メディアの持込の場合
 - ・ CD-R か USB メモリにてご持参ください。
 - ・ 保存するメディアには発表に必要なデータのみとし、他のデータは保存しないでください。
 - ・ 持ち込まれるメディアは、各自にて最新のデータによるウイルスチェックを必ず行ってご持参ください。
※ バックアップとして予備のデータもお持ちいただくことをお勧めします。
2. PC 持込の場合
 - ・ 会場で用意する PC ケーブルコネクタの形状は、D-sub ミニ 15 ピンです。
この出力端子を持つ PC をご用意いただくか、この形状に変換するコネクタを必ずご準備ください。
 - ・ 電源ケーブルをお忘れなくお持ちください。
 - ・ 再起動をすることがありますので、パスワード入力は“不要”に設定してください。
 - ・ スクリーンセ이버ならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
3. データの消去
フォーラム終了後、責任を持って事務局ですべて消去します。

3) 発表データの受付

- ・ 各セッション開始の 30 分前までに、PC 受付にて発表データの受付を行ってください。

場所：会議センター 1F フォワイエ（メインホール横）

時間：6 月 23 日（土）8：30～17：30

6 月 24 日（日）8：00～15：30

座長・発表者へのご案内

- ・ご自身の PC を持ち込んで発表される場合、PC 受付での受付終了後、ご自身の PC を発表会場内の映像オペレーター席にお持ちください。

発表の終了後、PC オペレーター席にて PC を返却いたしますので、お引取りください。

4) 二次抄録のご提出について

本年 10 月発行予定の日本小児科医会会報に講演の要旨を掲載させていただきます。

一般演題の方と一般演題以外の方では提出方法が異なりますので、以下の要領でご提出をお願いいたします。

〈一般演題の方〉

一般演題専用二次抄録提出用フォーム (<https://ws.formzu.net/fgen/S73105681/>) をご利用ください (ホームページよりリンクしています)。文字数は 400 字以内です。

〈一般演題以外の方〉

原稿枚数：400 字原稿用紙にして 13 枚程度 (5200 字) (抄録 400 字含む)

図、表は原稿用紙 1 枚と計算してください。

※原稿には 5 語以内の Key Words、日本語・英語の表題、400 字以内の抄録、著者の氏名、住所および所属をご記入ください。

※引用文献は本文の末尾に引用順に一括して掲載してください。(原稿枚数に含む)

書き方：①雑誌の場合－著者名：タイトル、雑誌名、巻：始頁～終頁、発行年 (西暦)

②書籍の場合－著者名：書名、巻数、版数、発行所、発行地、始頁～終頁、発行年 (西暦)

③著者名は 1 名までとし、それ以上は「他」「et al」としてください。

提出方法：Word 文書でメール添付、もしくは、CD-ROM で下記に送信もしくは郵送してください。

締切：2018 年 8 月 1 日 (水) 必着

送り先：第 29 回日本小児科医会総会フォーラム 運営事務局

株式会社日本旅行 国際旅行事業本部 ECP 営業部内 担当：佐久間・久保・山岸

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19 虎ノ門マリビル 11 階

TEL：03-5402-6401 営業時間 平日 09：30～17：30 (土・日・祝日は休業)

email：jpa_29@nta.co.jp

ポスターについて

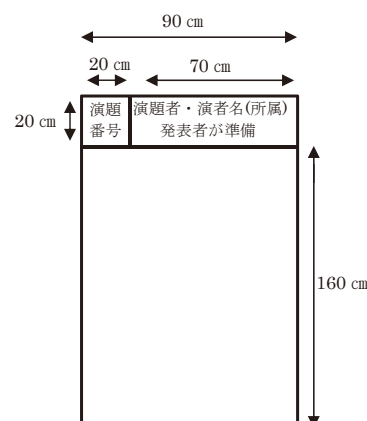
1) 展示サイズ

発表内容は縦 160cm × 横 90cm 以内に、要旨、目的、結果、考察、結語の順に収まるようにまとめてください。

(図、表を含めて、A 3 用紙であれば 10 枚程度掲示ができます)。

上段に演題名、演者名、所属を、縦 20cm、横 70cm の範囲でご用意ください。

COI 利益相反の有無についての掲示も必要です。



2) ポスター貼付

6月23日(土) 8:30～14:00

演題番号とプッシュピンは事務局でご用意します。

3) 展示期間

6月23日(土) 14:00～6月24日(日) 15:30

4) ポスター撤去

6月24日(日) 15:30～16:30

※ 16:30以降になっても撤去されない場合は、フォーラム本部にて撤去させていただきます。

利益相反の開示について

日本小児医学会総会フォーラムでは演題発表に際し、発表する研究内容に関連する利益相反の開示が必要です。

様式に関しては当総会フォーラムホームページ内「座長・演者へのご案内」

(<http://soukai.kanagawa-ped.org/zachou-enja.html>) をご覧ください。

日程表

2018年6月23日(土) 《1日目》

	第1会場 メインホール	第2会場 301	第3会場 303	第4会場 304	第5会場 311+312	第6会場 313+314	総会・ 理事会 211+212	ポスター 会場 315	展示 会場 302
9:00									
9:50~10:00	開会式						9:00~10:00 第2回 通常理事会		
10:00	講演1 「小児科の保険診療と 保険審査について」 10:00~12:00 「保険審査の現状と将来」 演者：高木誠一郎 P.033	教育講演1 10:00~11:00 「少子化社会での病児保育～究極の 育児支援は育児賛歌となる～」 演者：大川洋二 P.042							
11:00		講演2 11:00~12:00 「小児医療情報収集シス テムの整備について」 演者：加藤省吾 柴田真梨子 P.038		10:00~12:30 定時 社員総会				8:30~14:00 ポスター 設置貼付	
12:00									
12:15~13:15	LS1 富士フィルム メディカル株式会社 P.146	12:15~13:15 LS2 栄研化学株式会社 P.147	12:15~13:15 LS3 アステラス製薬株式会社/ 一般社団法人化学及血清療法研究所 P.148		12:15~13:15 LS4 アレジオン ファーマ合同会社 P.149	12:15~13:15 LS5 塩野義製薬 株式会社/ シャイアー・ ジャパン株式会社 P.150	12:30~13:30 臨時 理事会		
13:00									
13:30~14:30	特別講演1 「スポーツと身心の健康、 自信、自立について」 演者：蝶間林利男 P.026		シンポジウム2 13:30~15:30 「小児科外来での抗菌薬 適正使用を考える」 「外来での抗菌薬使用状況に 関するアンケート調査」 演者：八若博司 「小児科外来における抗菌薬 の使い方・考え方」 演者：宮入 烈 「日本小児科医会声明」 演者：柳 忠道 P.069						10:00~18:00 企業展示
14:00	特別講演2 「3.11と世界の子どもたち —カメラに写った未来への宿題—」 演者：安田菜津紀 P.028								
15:00	シンポジウム1 15:30~17:15 タバコ問題 「受動喫煙防止対策をめぐる政治情勢について」 演者：松沢成文 「東京都受動喫煙防止条例」 演者：岡本光樹 「子どもの虐待：新たな定義」 演者：齋藤麗子 「子どもの受動喫煙防止をめぐる法的規制が必要な理由」 演者：大和 浩 「小児労働が強い身体的健康の原動力 —作って笑って、食べて寝て、育って健康に—」 演者：来馬明規 P.055			15:30~16:30 日本小児科医 連盟執行委員会					
16:00					15:30~17:30 一般演題 口演 P.127	15:30~17:30 一般演題 口演 P.127		14:00~18:00 ポスター 展示	
17:00									
18:00	特別講演3 17:15~18:15 「子ども政策をめぐる今日的課題」 演者：自見はなこ P.030								
19:00								ヨコハマグランドインター コンチネンタルホテル 18:30~20:30 懇親会	

2018年6月24日(日) 《2日目》

	第1会場 メインホール	第2会場 301	第3会場 303	第4会場 304	第5会場 311+312	ポスター 会場 315	展示 会場 302
9:00	教育講演 2 9:00-10:00 「小児慢性機能性便秘診療ガイド ラインに基づく便秘診療のコツ」 演者：十河 剛 P.044	教育講演 5 9:00-10:00 「医療的ケアを必要とするこどもと 家族の生活を支える医療」 演者：星野陸夫 P.050	シンポジウム 5 (乳幼児学校保健委員会企画シンポジウム) 9:00-12:00 「乳幼児保健の新しい展開 -子育て世代包括支援センターと 地域小児科医の役割-」 [子育て世代包括支援事業における小児科医の役割： 多職種連携や地域総合小児医療認定医との関係] 演者：稲持英樹 [子育て世代包括支援センターの目指すところ 業務ガイドライン策定の目的] 演者：佐藤拓代 [子育て世代包括支援センター事業： 名張版ネウボラ事業の特徴] 演者：上田紀子 [こども子育てサポートセンターの取組 ～切れ目のない支援の輪となるセンターを目指して～] 演者：酒井陽一 「最近の母子保健行政の動き」 演者：平子哲夫 「フィンランドのネウボラ」 演者：松平隆光 P.105				
10:00	教育講演 3 10:00-11:00 「学校検尿・3歳検尿と小児腎疾患 -異所性腎臓の見方と考え方-」 演者：伊藤秀一 P.046	シンポジウム 3 10:00-12:00 「#8000 情報収集分析作業」 [小児救急電話相談情報収集分析事業] 演者：祝原賢幸 [「#8000 情報収集事業と全国統一システム ～#8000 事業 15 年間の軌跡」] 演者：森原正彦 [小児救急電話相談の全国統一 システムと情報収集分析] 演者：吉澤謙治 [「#8000 相談員からの報告と今後の期待」] 演者：吉村福代 [厚生労働省小児救急電話相談情報収集 分析事業に電話相談員として参加して] 演者：中条篤子 P.079					
11:00	教育講演 4 11:00-12:00 「小児の咳嗽・診断、 治療の新展開」 演者：望月博之 P.048						
12:00						9:00～15:30 ポスター 展示	9:00～15:00 企業展示
13:00	12:15-13:15 LS6 マルホ株式会社 P.151	12:15-13:15 LS7 サノフィ株式会社 P.152	12:15-13:15 LS8 MSD 株式会社 P.153	12:15-13:15 LS9 ジャパンワクチン株式会社 ／第一三共株式会社 P.155			
14:00	市民公開フォーラム 1 13:30-14:30 「子供の可能性を伸ばす 10の黄金法則」 演者：杉山美沙子 P.122	教育講演 6 13:30-14:30 「子どもの風邪 ～新しい風邪診療を目指して～」 演者：西村龍夫 P.052					
15:00	合唱演奏 14:45-15:15 P.024	シンポジウム 4 14:30-17:00 「子どもの貧困～小児医療の 現場でどう気づくか、どう支援 するか～」 [日本の子どもの貧困と現在の課題] 演者：山野良一 [海外との比較] 演者：武内 一 [気がかりな親子に気付く多職種 による情報共有の取り組み] 演者：宮田章子 [貧困を抱えた親子を支援した経験] 演者：原木真名 P.093	地域総合小児医療 検討委員会 (指導者研修会) 13:30～16:30				
16:00	市民公開フォーラム 2 15:30-17:00 「“結構びっくり面白い”途上国 小児医療の現場からのお話し」 ・18年のカンボジア・ラオスでの 経験より」 演者：赤尾和美 P.124						
17:00	17:00-17:10 閉会式						
18:00							

プログラム

●第1日目 2018年6月23日（土）

8：30 ～ 受付開始

10：00 ～ 12：00 講演 1 第1会場（メインホール）

座長 長 秀男（川崎市南部地域療育センター）

小児科の保険診療と保険審査について

保険審査の現状と将来

高木誠一郎（社会保険診療報酬支払基金福岡支部）

小児科外来診療と保険請求のポイント

東保裕の介（とうぼ小児科医院）

12：15 ～ 13：15 ランチョンセミナー 1 第1会場（メインホール）

座長 成田 光生（札幌徳洲会病院 小児科）

小児肺炎マイコプラズマ感染症の近況

大石 智洋（川崎医科大学 小児科学講座）

共催：富士フイルムメディカル株式会社

13：30 ～ 14：30 特別講演 1 第1会場（メインホール）

座長 藤原 芳人（ふじわら小児科）

スポーツと身心の健康、自信、自立について

蝶間林利男（横浜国立大学 名誉教授）

14：30 ～ 15：30 特別講演 2 第1会場（メインホール）

座長 高宮 光（高宮小児科）

3.11 と世界の子どもたち ―カメラに写った未来への宿題―

安田葉津紀（フォトジャーナリスト）

15：30 ～ 17：15 シンポジウム 1 第1会場（メインホール）

座長 藤原 芳人（ふじわら小児科）

タバコ問題

S1-1. 受動喫煙防止対策をめぐる政治情勢について

松沢 成文（参議院議員 前神奈川県知事）

S1-2. 東京都受動喫煙防止条例

岡本 光樹（弁護士 東京都議会議員）

S1-3. 子どもの虐待 新たな定義

齋藤 麗子（十文字学園女子大学 健康管理センター）

S1-4. こどもの受動喫煙を防止するために法規制が必要な理由

大和 浩（産業医科大学 産業生態科学研究所）

S1-5. 小児労働が吸い込め詐欺の原動力-作って死に・売って儲け・買ってだまされ・吸って死ぬ-

来馬 明規（とげぬき地蔵尊高岩寺 住職・医師）

17:15 ~ 18:15

特別講演 3

第1会場（メインホール）

座長 横田俊一郎（神奈川県小児科医会顧問 横田小児科医院）

子ども政策をめぐる今日的課題

自見はなこ（参議院議員）

10:00 ~ 11:00

教育講演 1

第2会場（301）

座長 佐藤 順一（上大岡こどもクリニック）

少子化社会での病児保育 一究極の育児支援は育児賛歌となるー

大川 洋二（全国病児保育協議会会長）

11:00 ~ 12:00

講演 2

第2会場（301）

座長 西野 善泉（にしのキッズクリニック）

小児医療情報収集システムの整備について

加藤 省吾（国立成育医療研究センター 臨床研究センター データ管理部 データ科学室）

築田真梨子（厚生労働省 医薬・生活衛生局 医薬安全対策課）

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 2

第2会場（301）

座長 松山 健（公立福生病院）

三歳児・学校検尿～そのシステムを活かすために～

幡谷 浩史（東京都立小児総合医療センター 総合診療科）

共催：栄研化学株式会社

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 3

第3会場（303）

座長 崎山 弘（崎山小児科）

百日咳は新しい病原体検査に基づいた全数把握疾患に変わりました

岡田 賢司（福岡歯科大学医科歯科総合病院予防接種センター）

共催：アステラス製薬株式会社 / 一般財団法人化学及血清療法研究所

13 : 30 ~ 15 : 30

シンポジウム 2

第 3 会場 (303)

座長 及川 馨 (日本小児科医会公衆衛生委員会担当理事)

峯 真人 (日本小児科医会公衆衛生委員会担当理事)

小児科外来での抗菌薬適正使用を考える

S2-1. 小児科外来での抗菌薬使用状況に関するアンケート調査

八若 博司 (日本小児科医会公衆衛生委員会)

S2-2. 小児科外来における抗菌薬の使い方・考え方

宮入 烈 (国立成育医療研究センター生体防御系内科部 感染症科)

S2-3. 日本小児科医会声明

柳 忠道 (やなぎクリニック、日本小児科医会副会長)

12 : 15 ~ 13 : 15

ランチョンセミナー 4

第 5 会場 (311+312 号室)

座長 土橋 隆俊 (川崎市立川崎病院 小児科)

成長障害へのアプローチ

佐野伸一朗 (浜松医療センター小児科)

共催：アレクシオンファーマ合同会社

15 : 30 ~ 17 : 30

一般演題 1

第 5 会場 (311+312 号室)

座長 片岡 正 (かたおか小児科クリニック)

1. 平成 29 年度全国広域化予防接種実施の調査報告

森 美喜夫 (日本小児科医会公衆衛生委員会) 他

2. 兵庫県小児科医会が行った予防接種実施方法についての実態調査 ～主にスケジュールについて～

杉原 加寿子 (兵庫県小児科医会感染症対策委員会) 他

3. 不活化ポリオワクチン 2 回目追加接種の重要性

関場 慶博 (せきばクリニック) 他

4. ワクチンの温度管理について～停電時の対策についての検討～

山本 千尋 (兵庫県小児科医会感染症対策委員会) 他

5. Hib、肺炎球菌ワクチンによる小児の侵襲性細菌感染症への影響に 関する広島県での病院アンケート調査

溝口 信行 (広島県小児科医会予防接種・乳幼児健診検討委員会) 他

座長 高宮 光 (高宮小児科)

6. 開業小児科における気道感染症抗原検査の現状

岡空 輝夫 (岡空小児科医院)

7. 乳幼児では膿尿の証明は細菌感染によるとは限らない

原 朋邦 (はらこどもクリニック) 他

8. 調剤薬局と連携した抗菌薬処方モニタリング

黒崎 知道（くろさきこどもクリニック）

9. あなたはインフルエンザをどのように診断していますか
—インフルエンザの診断についてのアンケート—

津田 隆（東京小児科医会調査部調査委員会）他

10. 2017/18 シーズンにおけるインフルエンザワクチンの有効率の調査報告

高宮 光（神奈川小児科医会）他

座長 生田孝一郎（いくた小児科クリニック）

11. 日本小児科医会会員の HTLV-1 母子感染対策への意識調査

時田 章史（公益社団法人日本小児科医会）他

12. 母子手帳で母親の風疹抗体価もチェックを！

渡部 礼二（わたなべ小児科医院）

13. 別府市で行っている小4・中2生活習慣病健診についての7年間のまとめ

矢田 公裕（別府市医師会小児生活習慣病対策専門委員会）他

14. 児童・生徒の肥満に関するアンケート調査

糸数 智美（日本小児科医会乳幼児学校保健委員会）他

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 5

第6会場（313+314 号室）

座長 秋山千枝子（あきやま子どもクリニック）

小児科医が診るべき神経発達症群～ADHD/ASD を中心に～

宮島 祐（東京家政大学子ども学部子ども支援学科）

共催：塩野義製薬株式会社 / シャイアー・ジャパン株式会社

15:30 ~ 17:30

一般演題 2

第6会場（313+314 号室）

座長 鈴鹿 隆久（すずか小児科クリニック・皮膚科クリニック）

15. 中四国小児科医会の合同調査による小児在宅医療の実態

井上 美智子（南岡山医療センター）他

16. 富山医療圏における小児医療的ケア実習研修会の充実に
むけての多職種連携の取り組み

八木 信一（富山県小児科医会）他

17. 障害をもつ小児患者の在宅医療に対する薬剤師の支援
—母子共に発達障害を持つ症例

須崎 宏子（ファイン薬局尼崎店）他

18. 大阪市 重症心身障がい児者の医療コーディネート事業
—連携・協働の視点から

和田 浩（大阪発達総合療育センター）他

座長 山崎 徹夫（山崎こどもクリニック）

19. 大阪小児科医会 救急・新生児研修会における症例報告からみた、小児救急医療の変遷について

尾崎 由和（大阪小児科医会病診連携部会 病院勤務医ネットワーク委員会）他

20. 富山医療圏における小児一次救急体制の現状と多職種連携による小児初期評価

八木 信一（富山県小児科医会）他

21. 平成 28 年度全国病児保育協議会実態調査の解析

荒井 宏治（全国病児保育協議会）他

22. 兵庫県下の認可外保育施設における事故及びその防止対策の実態調査

梶山 瑞隆（兵庫県小児科医会 小児保健委員会）他

座長 田角喜美雄（たつのこどもクリニック）

23. 地域総合小児医療認定医の貢献度と実力

佐藤 好範（日本小児科医会地域総合小児医療検討委員会）他

24. ネウボラをめざした妊娠期からの切れ目ない支援

佐藤 勇（よいこの小児科さとう）他

25. 小児科医による「がん予防授業」の取り組みと課題

高橋 義博（大館市立総合病院 小児科）

26. モンゴル渡航小児循環器診療支援プロジェクト 17 年の歩み

羽根田 紀幸（どれみクリニック）他

27. 乳児期早期に診断した重症アトピー 12 例のアレルギー予後

西村 龍夫（にしむら小児科）

●第2日目 2018年6月24日（日）

9：00 ～ 10：00

教育講演 2

第 1 会場（メインホール）

座長 中野 康伸（中野こどもクリニック）

小児慢性機能性便秘症ガイドラインに基づく便秘診療のコツ
十河 剛（済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科）

10：00 ～ 11：00

教育講演 3

第 1 会場（メインホール）

座長 相原 雄幸（相原アレルギー科・小児科クリニック）

学校検尿・3歳検尿と小児腎疾患-異常所見の見方と考え方
伊藤 秀一（横浜市立大学大学院医学研究科 発生成育小児医療学）

11：00 ～ 12：00

教育講演 4

第 1 会場（メインホール）

座長 山本 淳（星川小児科クリニック）

小児の咳嗽・診断、治療の新展開
望月 博之（東海大学医学部専門診療学系小児科学）

12：15 ～ 13：15

ランチョンセミナー 6

第 1 会場（メインホール）

座長 森本 哲（自治医科大学 とちぎ子ども医療センター 小児科）

乳児血管腫 紹介すべき患者のポイント
栗野 嘉弘（帝京大学医学部附属溝口病院 皮膚科）

共催：マルホ株式会社

13：30 ～ 14：30

市民公開フォーラム 1

第 1 会場（メインホール）

座長 道丸 摩耶（産経新聞 記者、浜松医科大学非常勤講師）
辻 祐一郎（池上総合病院小児科）

子供の可能性を伸ばす 10 の黄金法則
杉山美沙子（次世代 SMILE 協会 代表理事）

15：30 ～ 17：00

市民公開フォーラム 2

第 1 会場（メインホール）

座長 横田俊一郎（神奈川小児科医会顧問 横田小児科医院）

”結構びっくり面白い“ 途上国小児医療の現場からのお話し
-18 年のカンボジア・ラオスでの経験より-
赤尾 和美（フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPAN／ラオ・フレンズ小児病院）

9 : 00 ~ 10 : 00 **教育講演 5** 第 2 会場 (301 号室)

座長 鈴鹿 隆久 (すずか小児科・皮ふ科クリニック)

医療的ケアを必要とする子どもと家族の生活を支える医療

星野 陸夫 (神奈川県立こども医療センター地域連携家族支援部 新生児科)

10 : 00 ~ 12 : 00 **シンポジウム 3** 第 2 会場 (301 号室)

座長 渡部 誠一 (小児救急医療委員会 土浦協同病院小児科)

#8000 情報収集分析事業

S3-1. 小児救急電話相談情報収集分析事業

祝原 賢幸 (厚生労働省 医政局 地域医療計画課 救急・周産期医療等対策室)

S3-2. #8000 情報収集事業と全国統一システム～#8000 事業 15 年間の軌跡

桑原 正彦 (桑原医院)

S3-3. 小児救急電話相談の全国統一システムと情報収集分析

吉澤 穰治 (東京慈恵会医科大学 小児外科)

S3-4-①. #8000 相談員からの報告と今後の期待

吉村 福代 (広島県看護協会 #8000 相談員 看護師)

S3-4-②. 厚生労働省小児救急電話相談情報収集分析事業に電話相談員として参加して

中条 篤子 (埼玉県看護協会 小児救急電話相談員)

12 : 15 ~ 13 : 15 **ランチョンセミナー 7** 第 2 会場 (301 号室)

座長 峯 真人 (峯小児科)

ポリオから子どもたちを守る

～不活化ポリオワクチン就学前追加接種 助成の取り組み～

黒木 春郎 (医療法人社団嗣業の会 外房こどもクリニック)

共催：サノフィ株式会社

13 : 30 ~ 14 : 30 **教育講演 6** 第 2 会場 (301 号室)

座長 山本 淳 (星川小児クリニック)

子どもの風邪 ～新しい風邪診療を目指して～

西村 龍夫 (にしむら小児科)

14:30 ~ 17:00

シンポジウム 4

第2会場 (301号室)

座長 和田 浩 (健和会病院小児科)

子どもの貧困～小児医療の現場でどう気づくか、どう支援するか～

S4-1. 日本の子どもの貧困と現在の課題

山野 良一 (沖縄大学人文学部福祉文化学科)

S4-2. 海外との比較

武内 一 (佛教大学社会福祉学部)

S4-3. 気がかりな親子に気付く多職種による情報共有の取り組み

宮田 章子 (さいわいこどもクリニック)

S4-4. 貧困を抱えた親子を支援した経験

原木 真名 (まなこどもクリニック)

9:00 ~ 12:00

シンポジウム 5 (乳幼児学校保健委員会企画シンポジウム) 第3会場 (303号室)

座長 稲光 毅 (いなみつこどもクリニック 日本小児科医会理事)

伊藤 晴通 (生和堂医院 乳幼児学校保健委員会)

乳幼児保健の新しい展開

～子育て世代包括支援センターと地域小児科医の役割～

S5-1. 子育て世代包括支援事業における小児科医の役割:

多職種連携や地域総合小児医療認定医との関係

稲持 英樹 (なばりこどもクリニック)

S5-2. 子育て世代包括支援センターの目指すところ

業務ガイドライン策定の目的

佐藤 拓代 (大阪母子医療センター)

S5-3. 子育て世代包括支援センター事業: 名張版ネウボラ事業の特徴

上田 紀子 (名張市 福祉子ども部 健康・子育て支援室)

S5-4. こども子育てサポートセンターの取組

～切れ目のない支援の軸となるセンターを目指して～

酒井 陽一 (久留米市 子ども未来部 家庭こども相談室)

S5-5. 最近の母子保健行政の動き

平子 哲夫 (厚生労働省子ども家庭局母子保健課)

S5-6. フィンランドのネウボラ

松平 隆光 (松平小児科)

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 8

第3会場 (303号室)

座長 菅谷 明則 (すがやこどもクリニック)

子宮頸がん罹患の悲劇とワクチンと検診による予防の重要性

小林 裕明 (鹿児島大学医学部産婦人科)

昨シーズンのロタウイルス感染症とロタウイルスワクチンの効果

田島 剛 (博慈会記念総合病院)

共催: MSD 株式会社

12:15 ~ 13:15

ランチョンセミナー 9

第4会場 (304号室)

座長 南 武嗣 (医療法人たけのこ会 みなみクリニック)

予防接種の最新情報～この1年間を振り返る～

森岡 一朗 (日本大学医学部小児学科系小児科学分野)

共催: ジャパンワクチン株式会社 / 第一三共株式会社

第1日目：6月23日（土）

平成30年度第2回通常理事会	9：00～10：00	会議棟2階	211+212
平成30年度定時社員総会	10：00～12：30	会議棟3階	第4会場 304
平成30年度臨時理事会	12：30～13：30	会議棟2階	211+212
日本小児科医連盟執行委員会	15：30～16：30	会議棟3階	第4会場 304

第2日目：6月24日（日）

乳幼児学校保健委員会	7：30～9：30	会議棟4階	416
学術教育委員会	7：30～9：30	会議棟4階	417
子どもの心対策委員会	7：30～9：30	会議棟4階	411
国際委員会	8：00～9：30	会議棟4階	412
小児救急医療委員会	7：30～9：30	会議棟4階	414
公衆衛生委員会	7：30～9：30	会議棟4階	415
社会保険委員会	7：30～9：30	会議棟4階	421
広報委員会	7：30～9：30	会議棟4階	422
ホームページ委員会	7：30～9：30	会議棟4階	423
地域総合小児医療検討委員会	7：30～9：30	会議棟4階	424
第8回地域小児救急全国協議会（小児救急医療委員会）	12：30～14：30	会議棟4階	411+412
第4回地域総合小児医療認定医指導者研修会	13：30～16：30	会議棟3階	303

【小田原少年少女合唱隊プロフィール】

小田原少年少女合唱隊と卒業生の女声合唱団マルベリー・クワイアは5年ごとの周年記念と一緒に演奏しており、今年是小田原少年少女合唱隊55周年にあたるため、合同での演奏となります。小田原少年少女合唱隊は1963年に結成し、地元のさがみ信用金庫のご好意で練習場をお借りして、小学1年生から高校3年生が在籍しています。「歌いたい子どもの気持ちを大切に」というモットーのもと、オーディションは行っていません。プラハの国際合唱コンクール児童合唱部門1位と最優秀発声賞、イタリアのリヴァ・デル・ガルダ国際合唱コンクール・ユース同声合唱部門1位、全日本合唱コンクール一般部門の全国大会で金賞を受賞しています。卒業生で1985年に結成されたマルベリー・クワイアは、宝塚国際室内合唱コンテスト総合1位、ハンガリーのコダーイ国際合唱コンクール・ユース部門1位、イタリア・アレツォ国際合唱コンクール民族音楽部門1位、全日本合唱コンクール全国大会で金賞など受賞しています。創立時より55年間、代表の桑原妙子が指導・指揮にあたってきましたが、今回は娘で音楽監督の桑原春子（ヨーロッパ在住30年目）が指揮をいたします。

